

2つの肺炎球菌ワクチン；ニューモバックスと プレベナー20

肺炎で亡くなる方の97.9%が65歳以上です。そして、肺炎球菌は圧倒的1位の原因菌です。そのため、肺炎球菌ワクチンを打つことは、肺炎を予防する意味でとても重要になります。

肺炎球菌ワクチンにはニューモバックス（莢膜多糖体ワクチン）とプレベナー（結合型ワクチン）の2種類があり、ニューモバックスは65歳で自治体の補助により接種できます（定期接種）。ただし、ニューモバックスは免疫が5年程度しか持ちませんが、プレベナーは1度打つと長期（生涯）免疫が続きます。

以上より、65歳の方は、公費負担で「ニューモバックス」を接種する。さらに、66歳以降に「プレベナー20」を1回接種すれば予防効果良好。ただし、ニューモバックスを打っていない方も、どこかでプレベナー20を1回接種すれば十分ということになります。